

TIPS STAR 杯



10/25(土)26(日)27(月)



川崎スポーツ

レース展望

10月25日から開催される川崎FIIナイターはTIPS TAR杯。A級1・2班戦と3班チャレンジレースは東日本と中部近畿の選手で構成され、ガールズケイリンも含めて1日11レース制で行われる。

今開催の1・2班戦で地元を中心となるのはホームバンクの梅田加津也(119期)。9月岸和田・弥彦と連続で決勝進出を決めて昇り調子なのは間違いなく、先行と捲りのバランスも良い。大先輩の成田健児(75期)を連れて積極的に仕掛けて行く場面が見られるだろう。他には高本和也(121期)も地元期待の先行型であり、勝ち上がって来ればどう連係を決めていくか。南関にはタテヨコ何でものオールラウンダー菊池竣太郎(静岡111期)もいて、層の厚さはなかなかのもの。

の。東北勢では大ベテランのタイトルホルダー岡部芳幸(福島66期)が竹山慶太(宮城105期)の逃げから上位進出を狙う。関東ラインを引っ張っていくのは茨城から移籍した吉田昌司(埼玉111期)や積極性十分な吉田晏生(埼玉123期)・貝原涼太(栃木125期)となり、櫻井学(群馬84期)や江連和洋(栃木76期)が続いて好マークを決めていくか。中部近畿勢からは安定した成績を残す吉川希望(石川111期)と筒井裕哉(兵庫89期)が参戦し、ゴール前は両者の逃げ差し争いが見られる可能性も十分。

チャレンジレースではいつも通りに新人選手がV争いの主力となり、ホームバンク野中龍之介(127期)は宇都宮・別府で完全Vを決めて今回に2班特班がかかる。9月には立川決勝2着で一度特班に失敗しているだけに、地元で気合十分な走りから狙うは9連勝のみ。対する岩原健馬(愛知127期)も機動パワーはマズマズであり、同期対決で意地を見せるか。

ガールズケイリンは傑出者が不在で各選手がVを狙って混戦模様。点数上位で連対率の高い自力型岩崎ゆみこ(茨城116期)、ホームバンクで今年3度目のVを狙う永塚祐子(118期)、岸和田に続いてVを目指す當銘沙恵美(愛知118期)辺りが中心となるが、自在脚ある竹野百香(三重124期)や田中月菜(佐賀118期)もタイミングひとつで上位争いに食い込んでくるはず。

A級
主力選手



菊池竣太郎 静岡 111期

瞬発力を生かした柔軟な走りで活躍する自在型。近況では自力の比重が高いが、いざとなればタテヨコ何でもこなせるオールラウンダー。前回小倉の復帰戦ではまずまずの動きをみせており、今シリーズは南関ラインの主軸としてフル回転。今期2度目の優勝を狙う。

A級
主力選手



吉田昌司 埼玉 111期

父・哲也(引退)、兄・拓矢(107期)、弟・有希(119期)の競輪一家で育ち、今期はA級降級となったが、非常に高いポテンシャルの持ち主であり、しっかりと長い距離を踏める強地脚は魅力たっぷり。今期はまだ優勝がないだけに、今シリーズは結果を出したいところだろう。

A級
主力選手



吉川希望 石川 111期

しっかりと長い距離を踏める先行力が魅力であり、後手を踏んだ時のもろさもあるが、毎レース積極的に攻めるスタイルで戦っている。持ち味を発揮した時には数字以上の機動力で、今年はまだ優勝はないものの、力を出し切れば勝ち切る力は十分。遠征ラインをけん引する。

A級
注目選手

野中龍之介

神奈川 127期



川崎所属の若手にスター候補がまた新たに誕生した。学生時代から自転車競技で活躍してきた本格派で、養成所の成績は47位だが、ゴールデンキャップも獲得している好素質。持ち味のダッシュ力に加えて地脚も付いてきており、この地元バンクで特昇班を決められるか。

ガールズ
注目選手

永塚祐子

神奈川 118期



118期の在所ナンバーワンとして鳴物入りでデビューし早くも5年。近況は自力自在な競走でコンスタントに決勝進出をしている。今年は二度の優勝と初のGI出場を果たしているが、まだまだ上位を期待できる潜在能力を秘めている。今シリーズはホームでの優勝に期待したい。

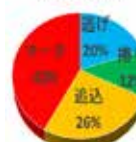
川崎競輪場バンクガイド (2024年1月~12月データ)

昨年1年間28開催・936レース(ガールズケイリンを含む)の川崎バンクの決まり手は右表の通り。昨年までのデータと逃げ・捲り・追込・マークのパーセンテージには大して変わりはないが、1着に限って言えば逃げ・捲りの決まり手は変わらず50%を超えているので、自力型のアタマから組み立てていく車券戦略が可能なだろう。川崎名物イエローライン付近のゴール前強襲は、選手たちも新バンクに慣れて徐々に出現率が高くなってきている感であり、力のある追込型はたとえ後方に置かれたとしても、最終4コーナーから一気に巻き返す可能性もあり軽視出来ない印象だ。

1着決まり手



2着決まり手



改修工事前の最終開催で地元勢が主力